

みやまえ地域カルタ 犬蔵中学校区版

いつまでも、伝えたい、残したい、私たちのふる里

あ 赤色は尻手黒川のナンキンハゼ

尻手黒川道路の馬橋交差点から清水台付近にかけての街路樹はナンキンハゼです。秋になると紅葉して真赤になります。公園ではよく見かけられる樹木ですが、街路樹としては珍しく、特色のある並木道です。

い 犬蔵の谷戸源流だ

清水枝谷(えたやと)という犬蔵にあった谷戸は、矢上川の水源池の一つです。犬蔵地区の区画整理事業によって、谷戸の姿は消えてしまいました。が、宮前美しの森公園には、湿地と池が設けられ、その面影が残りました。

う 美しの森ホタルやザリガニ希望の光

宮前美しの森公園は、古くからある湧水を活かした井戸や、谷戸の風景を残す自然豊かな公園で、近くの住民、子どもたちにも利用されています。ホタルやザリガニなどが帰ってくるのが望まれています。

え 枝谷の田んぼの跡にニュータウン

犬蔵2丁目は開発が行なわれる前は清水枝谷という谷戸が広がり、雑木林に囲まれた谷戸田が多くありました。現在は、多くのマンションが立ち、人口が増え、新しい街となりました。

お 音楽隊カラーガードと練習だ

川崎市消防音楽隊は、カラーガード隊「レット・ウィングス」と共に、犬蔵の消防総合訓練場で練習を重ね、市内各区での消防出初式、春・秋の火災予防運動に伴う消防行事などのほか、市や地域の行事などに出演しています。

か 学校で好きなところはピオトープ

犬蔵小学校のピオトープは、平成17年に学校創立三十周年の際に作られました。小さな滝から始まり、せせらぎがあり、水草の黄色い花で満開になります。その水を利用して田んぼは一面緑で溢れます。

き 旧道は緑豊かな散歩道

尻手黒川道路は整備され幹線道路として多くの交通量がありますが、矢上川に沿った旧道は静かな散歩道になっています。

く 区民の集いの自治会館

犬蔵自治会館は、平成20年に建て替えられ、犬蔵自治会員をはじめ地域とのコミュニケーションのための集いの場として利用されています。

け 健康を楽しく保つ場 スポーツセンター

宮前スポーツセンターは、区のスポーツ活動の拠点として、平成18年4月に完成しました。大体育室、小体育室、研修室、トレーニング室などがあり、健康増進や体力向上を図るため、誰もが気楽にスポーツを楽しむことができます。

こ 五穀豊穡願って射る初卯祭

白幡八幡大神の初卯祭は、八幡講と呼ばれ、毎年3月初めの卯の日に行われます。藪で男子2人を鳥居に飾り、5歳未満の男子2名によつて的を射る歩射(マトー)が行われ、五穀豊穡を願います。

さ 坂がある白幡台は大変だ

白幡台は、白幡台小学校のグラウンドの標高が海拔88メートルと、宮前地区では湖見台に次ぐ高台の街で、坂の多いところです。

し 白幡は初山遺跡にありますよ

白幡小学校の校門付近に初山遺跡の解説立札があります。初山遺跡は現在の白幡小学校と、そのまわりの場所にある縄文時代中期(約4500年~4000年前)のもので、

す 涼やかな緑の中の天神様

尻手黒川道路から一歩入った道路沿いの緑の中の石段を登ると、大木に囲まれて大蔵天神社があります。石造りの天神像は衣冠束帯姿で、江戸時代中ごろの造立です。社の前には、馬頭観音や庚申塔や稲荷祠もあります。

せ 絶景だ高台から見えるスカイツリー

白幡台小学校のグラウンドの標高は海拔88メートルです。白幡台周辺は高台のため晴天なら、見晴らしのよいところから東京スカイツリーをはじめ、都内の高層ビルなどが眺められます。

そ 空高くいつせい放水出初め式

宮前区消防出初式は、新春の恒例行事で、例年川崎市総合防災訓練場で実施されます。地域の消防団や関係団体も参加して開催されます。

た 竹の子も春だ春だと衣ぬぎ

尻手黒川道路から少し入った一角に、竹林が残っているところがあります。春先に、多くの竹の子が頭をだし、竹の子掘りを取り残された竹の子が、あつという間に成長して若竹へと姿を変える姿が見られます。

ち 竹林の風吹き抜ける小径かな

東名高速道路近くの住宅街に、竹林に囲まれた細い坂道があります。細い竹林の坂道を抜けると、農地や戸建の静かな住宅街に出ます。

つ 次の世代に伝えたい民俗芸能 囃子かな

白幡八幡大神の祭礼などでは、平瀬子が揃いの法被、鉢巻で、笛、太鼓、鉦かねで、にぎやかに演奏されます。

て 伝統を今に伝える八幡宮

白幡八幡大神は、伝えによると、源氏ゆかりの神社で、源頼朝が鎌倉幕府を開いたときに再建し、源頼朝八幡宮としたといわれています。江戸初期には、福宜舞が奉納され、現在も続いています。

と 東名インターと花と緑でいっぱい

東名インターチェンジ前の花壇には、多くの花が咲いています。ここは、地元の方が熱心に維持管理を行っており、植え替えの際には、子ども達も参加しています。平成23年3月には、花壇内にメッセジ看板も完成しました。

な 南平の銀杏並木の落葉かな

犬蔵交差点から南平までのバス通りとなっている白井坂は、イチョウ並木が続く。特に秋の紅葉が美しいです。

に 二十三日の月を待って豊作を祈る

二十三日月待供養塔は、二十三日の月の出を一刻も早く拝して、五穀豊穡や子孫繁栄を祈る月待ちの行事の記念に立てられました。また、二十三日の月待ち行事の記念に勢至菩薩(せいしほさく)の銘が刻まれています。

ぬ 沼のカエル春を迎えて泳ぎだす

犬蔵2丁目は区画整理事業前は、雑木林に囲まれた田んぼがあり、カエルも鳴いていました。宮前美しの森公園には、谷戸の風景が残っています。池にカエルの姿を探してみよう。

ね ねぎまいや源氏ゆかりの白幡八幡

福宜舞は、白幡八幡大神の神主に伝わる一子相伝の舞です。福宜舞の起源ははっきりしませんが、徳川家康が関が原出陣の際に戦勝祈願のため、平村の白幡八幡社の神主に「天下神楽を興行させたのが始まりといわれています。

の 農家の庭先にある栗林

犬蔵地区は、宅地化が進んでいます。が、尻手黒川道路に沿って屋敷林に囲まれた農家があり、栗林、竹林、梅林も点在しています。

は 埴輪を焼いた市内唯一の窯跡だ

白井坂埴輪窯跡は、市内で唯一の埴輪窯跡ですが、現在はありませぬ。出土した埴輪片から6世紀末から7世紀ごろと推定され、高津区の西福寺古墳出土の馬型埴輪などがこの窯で焼かれたものと判明しました。

ひ 人知れず地下に音聞く 武蔵野線

武蔵野線は、鶴見駅から西船橋駅を結ぶ鉄道路線で、鶴見から府中本町は貨物線となっています。区内の地下を通っており、線路上の付近の住民によると、夜、静かなときに地下を走る貨物の音が聞こえることがあるそうです。

ふ 分水嶺をまたぐ坂道 白井坂

白井坂にある犬蔵小学校前のバス停は坂の頂上にあつて、ここは平瀬川と矢上川との分水嶺となっている場所です。平瀬川は多摩川へつながり、矢上川は鶴見川につながります。

へ 平成に面影残る王禅寺道

土橋から犬蔵初山にかけての尾根道は王禅寺道といわれ、平瀬川と矢上川との分水嶺であり、庚申塔や道標などの旧道の面影があります。

ほ 防災の大きな味方 訓練場

川崎市消防訓練場は、市内唯一の消防総合訓練場です。市内全域の消防職員や消防団員などの消防関係者がここで訓練し、防災技術の向上に努めています。また、市消防音楽隊とカラーガード隊も演奏やドリルなどの練習をしています。

ま まちの木よ白幡八幡のクスノキよ

白幡八幡大神のクスノキは、川崎まちの木50選の一つにもなっており、神殿の左手の斜面にこんもりと茂っています。この木は、昭和天皇の即位を記念して植えられたものです。

み みんな集まれ無病息災 どんど焼き

どんど焼きは、小正月(1月15日)に行う火祭り。門松・しめ縄・竹などを集めて、無病息災を願って焚きます。犬蔵地区では、平成21年に始まり、東名犬蔵公園で行われています。子どもも大人も大勢の人が参加して行われます。

む 昔はね犬蔵には谷戸があつたんだ

犬蔵2丁目は、開発が進み、新しい街となり、谷戸の面影はほとんど見られなくなってきました。そんな中でも、宮前美しの森公園の湿地と池には、谷戸の面影を見ることが出来ます。

め めずらしいエビネも残る 美しの森

宮前美しの森公園は、犬蔵2丁目の区画整理事業の中で谷戸の面影が残されています。珍しい種類の植物も残されています。新たに植栽された樹種も、ともあつた自然植生を回復するように選定されたそうです。

も 盛り上がる公園ふれあいまつり 白幡台

白幡台公園では、毎年、公園ふれあいまつりが開催され、地域の子どもたちが大勢参加し、にぎわっています。

や 矢上川ミヤコタナゴがいたんだよ

犬蔵地区の矢上川は、ほとんどが暗渠(あんきょ)になっていますが、昔は谷戸の湧き水から流れるきれいな川で、ミヤコタナゴなど清流にすむ生物がたくさんいました。子どもがミヤコタナゴを捕まえて遊んでいたそうです。

ゆ 夕焼けの公園でバイバイ 友達と

地域には、たくさんの公園があり、放課後、多くの子どもたちが遊んでいます。夕暮れ時、公園で遊んでいた子どもたちが、友達と別れて家路につく姿も楽しげです。

よ 夜回りは町の安全火の用心

地域の自主防災組織では、安全で安心できるまちづくりのため、地域の防犯パトロールを行っています。

ら 楽々と訓練塔登る 消防士

川崎市総合防災訓練場には訓練塔があり、消防士が災害時に備え訓練をしている姿が見られます。

り 力作だ東名下の12枚の壁画

犬蔵2丁目から鶴沼へ通じる東名高速道路下のトンネルには、平成19年の夏に、犬蔵中学校の美術部を中心とした生徒たちが描いた壁画があります。日本の四季と題した月ごとの12枚の壁画は、鮮やかでトンネルの雰囲気を明るくしています。

る ルーツをたどる 鎌倉古道

鎌倉時代には、鎌倉に向う御家人たちの往来が多く、関東の各地から鎌倉に至る道が整備されていきました。この道は宮前区内も通っていました。犬蔵2丁目の白井坂の付近には、古道の雰囲気が残された場所があります。

れ レンゲの花 犬蔵の里の原風景

宮前区は、かつて農耕地帯で、犬蔵地区も谷戸があるなど、緑豊かで田んぼも多くありました。かつては、田植え前には、レンゲの花が多く見られました。

ろ 路地に残る庚申塔は道案内

犬蔵地区にも、いくつかの庚申塔が残されています。庚申塔は、下方に三猿を彫り、背面金剛尊と呼ばれる持ち物を沢山持った像や「庚申様」の文字を刻いた石塔のことです。村境や字の境の街道や旧道沿いに残されていることが多いです。

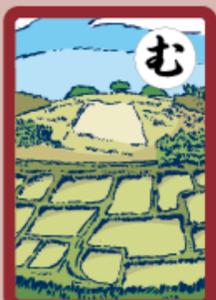
わ 若い町公園デビュー パパとママ

犬蔵2丁目は、新しいマンションが増えました。子育て世代の住民が増え、近所の公園には、子連れ親子が多く、公園が出会いの場になっています。



みやまえ地域カルタ 犬蔵中学校区版

いつまでも、伝えたい、残したい、私たちのふる里



みやまえ

宮前区役所
みやまえカルタ制作実行委員会